

私立大学図書館協会西地区部会 2008 年度第 1 回阪神地区協議会定期総会議事要録

日 時：2008 年 5 月 26 日（月） 14：00～15：10

会 場：大手前大学 さくら夙川キャンパス アートセンターD-03 講義室

出 欠：出席校 …………… 46 校（52 名）

欠席校…………… 21 校（内、委任状提出校 19 校）

配付資料

〔資料 No.1〕 2008 年度阪神地区協議会組織図

〔資料 No.2〕 阪神地区協議会役員校ローテーション関係資料

役員校選出に関する提案

役員校ローテーション関係資料に関する申し合せ(案)

2009 年度役員校ローテーション表(案)

2008 年度定期総会議長校(案)

2008 年度阪神地区協議会役員校輪番制確定基礎資料(表)

〔資料 No.3〕 「提案事項」(協議事項 8)

〔資料 No.4〕 私立大学図書館協会及び協会関連団体役員、委員会委員等について

〔資料 No.5〕 阪神地区協議会ホームページ(変更案)

〔資料 No.6〕 阪神地区協議会関連メーリングリスト登録変更依頼(書式)

〔資料 No.7〕 私立大学図書館協会ホームページ名簿関係書式

館名変更について(報告)

加盟図書館名簿掲載事項変更届

議 事

議長選出まで、大手前大学図書館事務室長 守屋祐子 氏が議事を進めることとした。
大手前大学図書館館長代理 吉田暁史 教授が開会の挨拶を行った。

I. 議長選出

阪神地区協議会議長校当番順位（ローテーション表）に基づき、甲南大学図書館 宮地博明 氏を選出した。

II. 報告事項

報告事項に先立ち、議長から、本日の出欠等について報告があり、定期総会が成立している旨、報告があった。

1. 阪神地区協議会報告

1) 阪神地区協議会会務報告

理事校である大手前大学（守屋氏）から、総会資料に基づき、次の各項目について報告があり、これを了承した。

- (1) 加盟校数(2008年4月1日現在):67校
- (2) 加盟校名称変更:四天王寺大学
- (3) 2008年度役員校
- (4) 2008年度運営委員会委員
- (5) 2008年度分担保存運営委員会委員

2. 西地区部会会務報告

大手前大学(守屋氏)から総会資料に基づき、次の各項目について報告があり、そのうち西地区部会研究会については、西地区部会長校・大阪学院大学(矢田部氏)から修正箇所について補足説明があり、これを了承した。

- 1) 西地区部会加盟校(2008年4月1日現在)
- 2) 役員校・当番校ならびに研究会幹事校
 - (1) 2008年度西地区部会役員校
 - (2) 2008・2009年度西地区部会当番校
 - (3) 2008年度西地区部会研究会幹事校
- 3) 2008年度西地区部会総会
- 4) 西地区部会研究会
 - (1) 2008年度西地区部会研究会(予定)
- 5) 西地区部会役員会
 - (1) 2007年度第3回役員会
 - (2) 2008年度第1回役員会(予定)

3. 協会関係事項報告

大手前大学(守屋氏)から総会資料に基づき、次の各項目について報告があり、これを了承した。

- 1) 協会加盟校
 - (1) 2008年度加盟校数(2008年4月1日現在)
 - (2) 2008年度新規加盟予定校
- 2) 東西合同役員会(2007年度第2回)
- 3) 常任幹事会(2008年度第1回)
- 4) 協会賞審査委員会
- 5) 研究助成委員会(2007年度第3・4回)
- 6) 国際図書館協力委員会(2007年度第5回)
- 7) 協会ホームページ委員会(2007年度第4回・2008年度第1回)

4. 協会関連事項報告

大手前大学(守屋氏)から総会資料に基づき、次の各項目について報告があり、これを了承した。

- 1) 国公立大学図書館協力委員会
- 2) 日本図書館協会関係報告
- 3) その他（後援事項）
- 4) 大学近畿イニシアティブ報告

III. 協議事項

1. 2007 年度決算（案）及び同監査報告について

理事校・大手前大学（守屋氏）から総会資料に基づき、2007 年度決算について説明があった。引き続き、監事校・大阪国際大学（吉岡氏）から、同監査を 4 月 17 日に行った旨の説明があった。審議の結果、異議なくこれを承認した。

2. 2008 年度事業計画（案）について

大手前大学（守屋氏）、研究会幹事校・関西福祉大学（細金氏）、相互利用運営幹事校・神戸国際大学（筆保氏）から、総会資料に基づき、2008 年度事業計画（案）として次の各事項について説明があった。審議の結果、異議なくこれを承認した。

- 1) 阪神地区協議会定期総会の開催（年 2 回）
- 2) 阪神地区協議会運営委員会（年 3 回）
- 3) 阪神地区研究会活動（年 2 回）
- 4) 相互利用運営活動
 - ・ 阪神地区相互利用担当者連絡会（年 2 回）
 - ・ 阪神地区相互利用分担保存委員会（年 2 回）
- 5) グループ別研究会活動
 - ・ 書誌学研究会

3. 2008 年度予算（案）について

引き続き、大手前大学（守屋氏）から、総会資料に基づき、2008 年度予算（案）について説明があり、審議の結果、これを承認した。

4. 2009 年度研究会幹事校候補について

大手前大学（守屋氏）から、総会資料（ローテーション表）に基づき、2009 年度研究会幹事校は神戸山手大学・短期大学に、同副幹事校は大阪成蹊大学・短期大学にお願いする旨、提案があった。審議の結果、異議なくこれを承認した。

5. 大学図書館近畿イニシアティブ専門委員について

大手前大学（守屋氏）から、総会資料に基づき、2008～2009 年度大学図書館近畿イニシアティブ広報・WEB 専門委員は武庫川女子大学 川崎安子氏に内定しているが、阪神地区総会の承認事項であるので、承認をお願いする旨、提案があった。審議の結果、異議なくこれを承認した。

6. 阪神地区研究会テーマについて

関西福祉大学（細金氏）から、2008年度第1回として、学生の図書館利用のパターンとその利用成果に関連するテーマで文教大学 戸田あきら氏、図書館職員に求められているものは何かというテーマでお茶の水女子大学 雨森弘行氏を招請して、研究会を開催したい旨の説明があった。審議の結果、異議なくこれを承認した。

併せて、第2回のテーマや講師、その他に意見・希望があれば、研究会幹事校へ伝えて欲しい、との要請が関西福祉大学からあった。

7. 阪神地区協議会ホームページおよび協会ホームページの名簿について

大手前大学（守屋氏）から、協議会ホームページの「お知らせ」を見やすい形に改めたい旨の提案があった。また加盟校図書館名簿が会長校管理に一元化され、その内容が全国総会で配布される冊子体名簿となるため、修正の有無を確認するよう要請があった。審議の結果、異議なくこれを承認した。

8. 2009年度以降の役員校輪番制について

大手前大学（守屋氏）から、総会資料に基づき、館長職教員を除く専任職員数と入学学生定員数に基づくローテーション表を作成して5年ごとに見直すこと、専任職員数2名以下の場合は当分の間役員校を免除すること、それを骨子とする新しい役員校輪番制の提案があった。

また、大阪芸術大学（多賀谷氏）から、事前に学生入学定員数のみを基にする輪番制の提案を行ったが、理事校案が非専任職員数をカウントするものでないため、提案を取り下げる旨の発言、今回の理事校からの提案に対して専任職員数が少ないことで役員を免除することの妥当性についての質問、さらにこの提案をこの場で決定するのか持ち帰って意見を聴取するのかとの質問があった。

これに対し、大手前大学（竹村氏）から、専任職員数を判定の基準とした提案内容の説明と、免除校にも会場当番や図書館見学会といった分担等での協力を検討していきたい旨の補足説明があった。

さらに、関西大学（市原氏）から、どの加盟校でも専任職員数が減少している現状で、役員校は図書館だけでなく大学全体として分担するのが望ましく、役員免除校は設けるべきでない、また私立大学図書館協会での個人委員の役割も勘案する等多方面から検討してほしいとの意見があった。

こうした意見交換の結果、各加盟校が今回の提案を持ち帰って十分に検討し、次回総会で決定することを確認した。

9. 神戸常磐大学の加盟について

大手前大学（守屋氏）から、総会資料に基づき、5月14日に神戸常磐大学から加盟申込書を受理し、西地区部会長校へ送付した旨の説明があった。審議の結果、異議なくこれを承認した。

IV. 承合事項

近畿大学（森岡氏）から、図書館ボランティアを立ち上げるので、メーリングリストその他による承合での協力を各加盟校へ依頼したい旨の発言があった。

V. 確認事項

1. 2008年度第2回阪神地区協議会定期総会議長校について

大手前大学（守屋氏）から、総会資料（ローテーション表）に基づき、近大姫路大学が2007年度新規加盟であり、また神戸海星女子学院大学が2005～2006年度研究会幹事校であったためそれぞれ3年ルールが適用され、次回阪神地区協議会定期総会の議長は甲南女子大学である旨、報告があり、これを確認した。

VI. その他

次回議長校・甲南女子大学 吉田氏、2009年度研究会副幹事校・大阪成蹊大学 眞木氏から挨拶のことばがあった。

以上で議事を終了し、大手前大学図書館事務室長 守屋氏から閉会の挨拶があった。

以上